

※**ダイレクトストリーミングモデル、CIC-M、ENJOY 30はCROS非対応です。**  
 ※最新の対応シリーズは、総合カタログをご覧ください。

## CROSのマッチング手順

① 受信側となる補聴器は、通常通りのフィッティングを行います。

② 「使用操作」画面をクリックし、画面左側の「CROS/BICROS」をクリックします。



⑥ 自動送信は、CROSの電源をONにすると自動的にCROSの送信を開始するモードです。CROSのプログラムボタンを押して送信を始める場合は、オフを選択します。



⑦ CROSに電池を入れ、バッテリーホルダーを閉じ、お客様に装着していただくか、インターフェースの通信範囲内にCROSを置きます。「次へ」をクリックし、マッチングへ進みます。



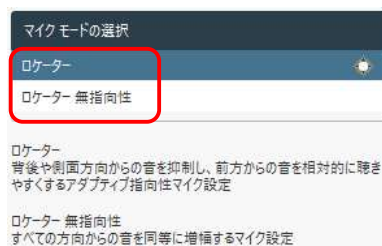
③ 「マッチングの開始」をクリックします。



④ 「BICROS（片耳が聾で反対側が難聴の場合）」で使用するのか、「CROS（片耳が聾で反対側が健聴の場合）」で使用するのかを選択します。  
 ※CROSを選択すると、補聴器側のマイクはオフになります



⑤ CROSのマイクモード（指向性）を選択します。初期設定は「ロケーター（環境適応型指向性）」が選択されています。



### 注意：ワイヤレス通信が中断された場合

デモ用CROSなどでCROSの自動送信がオンになっている場合、電源オンとともにCROS側からの送信が始まるため、補聴器とインターフェース間の通信の妨げになります。新規のCROSマッチング時に下記のように通信が中断された場合は、**CROSのプログラムボタンを押して送信を止めた上で、「再検索」**を押し、補聴器とインターフェースの通信を確立してから、CROSのマッチングを行ってください。



マッチング中です。しばらくお待ちください。



⑧ マッチングは正常に完了と表示されたら、マッチングは完了です。「OK」ボタンをクリックします。

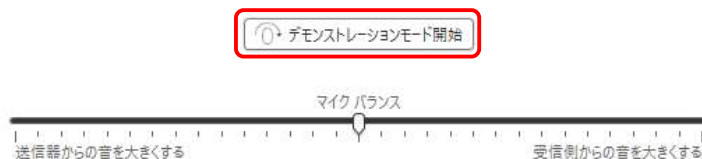


注意：再度マッチングしてくださいと表示された場合 CROSの電池を確認したり、補聴器とCROSの距離などを見直し、「再開」ボタンをクリックしてください。なお、補聴器とCROSを装着した状態（補聴器とCROSが並行になっている状態）が一番電波の通りが良くなります。



## CROSの確認と微調整

CROSから送信されてくる音を確認する場合は、「デモンストレーションモード開始」ボタンを押して試します。



CROSのプログラムボタンを押し、CROSから入ってくる音をお客様に確認していただけます。確認が終わったら、**必ずCROSのプログラムボタンを押して送信を止めてから**、「デモンストレーションモードを停止」ボタンをクリックします。



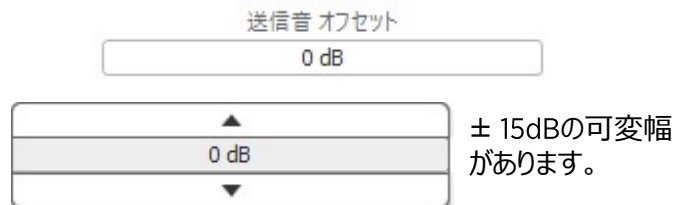
### ● 微調整 (BiCROSの場合)

CROSから届く音を強調したい場合は、「送信器からの音を大きくする」(左側)へスライダを動かします。補聴器の音を強調したい場合は、「受信側からの音を大きくする」(右側)へスライダを動かします。



### ● 微調整 (CROSの場合)

CROSから届く音を大きくしたい場合は、0dBボタンをクリックし、▲をクリックして数値を+側へ移動します。反対にCROSからの音を小さくしたい場合は、0dBボタンをクリックし、▼をクリックして数値を-側へ移動します。



WIDEX CROS使用後

WIDEX CROSを使用したら、補聴器と同じように空気電池を取り出し、十分乾燥させてください。